

テーマ：私たちが賛美を捧げる主権者なる主は一体どのようなお方なのか？

●ネブカデネザル王(cf. ダニエル書 4 章)

### ○主権者なる主：私たちに相応しい二つの応答

#### 1. \_\_\_\_\_を表すこと(1-4)

▶「手をたたけ」

※2 列王記 11:12

「こうしてエホヤダは、王の子を連れ出し、彼に王冠をかぶらせ、さとしの書を渡した。彼らは彼を王と宣言した。そして、彼に油をそそぎ、手をたたいて、「王さま。ばんざい」と叫んだ。」

▶「叫べ」

※1 サムエル記 17:50, 52

「こうしてダビデは、石投げと一つの石で、このペリシテ人に勝った。ダビデの手には、一振りの剣もなかったが、このペリシテ人を打ち殺してしまった。…イスラエルとユダの人々は立ち上がり、ときの声をあげて、ペリシテ人をガテに至るまで、エクロンの門まで追った。」

●心からの喜びを表す神様の姿：

#### 1) 神様は\_\_\_\_\_王(2-3)

▶「いと高き」

※詩篇 91:1, 7-9

「いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。…千人が、あなたのかたわらに、万人が、あなたの右手に倒れても、それはあなたには、近づかない。あなたはただ、それを目にし、悪者への報いを見るだけである。それはあなたが私の避け所である主を、いと高き方を、あなたの住まいとしたからである。」

※詩篇 97:9

「まことに主よ。あなたは全地の上に、すぐれて高い方。すべての神々をはるかに抜いて、高きにおられます。」

※イザヤ 14:12-15

「暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のように上ろう。』しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。」

## ▶「主」

※詩篇 33:6-11

「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口のいぶきによって。主は海の水をせきのように集め、深い水を倉に収められる。全地よ。主を恐れよ。世界に住む者よ。みな、主の前におののけ。まことに、主が仰せられると、そのようになり、主が命じられると、それは堅く立つ。主は国々のはかりごとを無効にし、国々の民の計画をむなしくされる。主のはかりごととはとこしえに立ち、御心の計画は代々に至る。」

※イザヤ 46:9-10

「遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごととは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言う。」

※ローマ 8:28

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

「神の主権は、神の子が夜に頭を休める枕であり、完全な平安を与えてくれるものです。」(チャールズ・スポルジョン)

2) 神様は\_\_\_\_\_祝福を与えられる王(4)

※創世記 12:7

「そのころ、主がアブラムに現れ、そして「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える」と仰せられた。…」

※エペソ 1:4-5

「すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちがイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。」

※1ヨハネ 4:10

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」

2. \_\_\_\_\_ 誉め歌を歌うこと(5-10)

## ▶「巧みな歌」

※ヨハネ 4:23-24

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのよな人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」